

DV離婚・性暴力被害者の相談の日々



NPO 法人ハーティ仙台代表 やはた えつこ

DV と性暴力の被害者支援を行っています。

コロナの影響が出てから電話相談は 1.3 倍に増えました。コロナの影響であらゆる顔を合わせる企画は、お休みを余儀なくされましたが、再び面談も増えてきました。しかし、近頃の大きな変化は、昨年 11 月から開始したハーティ仙台メール相談です。次々と相談が入ります。圧倒的に子育て中の方の相談が多いです。メール相談の方は、40 代以下が主です。60 代以降の方は、メール相談の利用は得意ではないようです。

メール相談は「5日以内に返信」と銘打っていますが、ほとんど2～3日以内に返信しています。チャット相談に比べると、メール相談はのんびりしたやり取りです。ですが、これが子育て中の方に良かったようです。仕事している主婦はもちろん忙しい！！ 歩いていることはない、365日走っている状態と言えます。でも、専業主婦は、24時間戦闘態勢です。休憩時間も、有給もない日々。どなたも、長い時間メールのやり取りをすることは、不可能なのです。だって、子どもの食事、おむつ交換、入浴、買い物、病院受診、片付け、塾の送迎・・・あれこれ、あれこれ・・・際限はありません。

メール相談には、ようやく見つけた時間に何度も何度も、推敲を重ねて作った文を送ってこられます。文字数制限の中で（1000文字以下）よくまとめた、間違いのない文を送ってくださいます。真面目さ、真剣さが伝わります。相談は、東北の他県からもあります。ですがほとんどが宮城県の方からです。

DVには、精神的、身体的、経済的、性的暴力があります。「身体的暴力は、近頃はないです。」というケースが多いです。殴られてはいない。で

もとても苦しい、これは私のわがままのせい？ この程度はDVと認定されますか？ 生活はできているのです。でもすべてが、彼の指示の中、許可の中なのです・・・辛い。私は彼と話し合うことは、あきらめています。私の意見、気持ちは押し殺して生きています。でも、でも苦しいです。ようやく別居できました。私は殴られてはいませんでした。でも同じ車が近づいても、似たような人を見かけても、ドキドキします。呼吸ができなくなります。とても怖いのです。お子さんに影響が出てから相談される方も多いです。

回答のポイントをお伝えします。子どもの心の基地である母親が恐れ、不安の中で生きて行くことは、子どもにとって非常に悪い影響を与えます。面前DVといいます。しかし、面前でなくても、母の不安と苦しみを感しない子どもはいません。（ハーティ仙台は女性支援に限っているので、母親と書かせていただきました。全国的規模の相談には、男性のDV被害相談は確実にあります。）

まずは、あなたの人生のために、暴力と離れる生活を一緒に考えましょう。DVはあなたが苦しいならDVです。基準はあなたです。別れるという強い決心、別居、弁護士、警察生活安全課が、ポイントです。大丈夫、方法は必ずあります。と返信しています。メール相談から、電話や面接や、話し合いの場へと進んでいます。

打ち明けられたら、「諦めないで相談しよう！」と伝えてください。

